

プラスチックを **使用しない** 環境に **やさしい** ロング肥料 /

“新”マトリックス有機



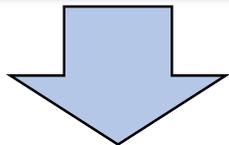
畜ふん堆肥入り 混合堆肥複合肥料

- ・国内未利用資源の堆肥を活用した低コスト肥料
- ・リン酸、カリウムの利用率が高い
- ・化成肥料に比べpH変動が少ない

マトリックス有機

- ・当社独自の液状のウレアホルムを原料とした肥料
- ・被覆肥料より温度依存が低い
- ・BB肥料とは異なる1粒肥料
- ・被覆殻の残存が無い

～堆肥入りエコレットと緩効性マトリックス有機を一つの肥料に～



※新マトリックス有機は、当社独自の造粒方法で、側条施肥にも対応したアグレット形状です。

緩効性混合堆肥複合肥料

畜ふん堆肥入り肥料とマトリックス有機の長所を生かした新規緩効性肥料を開発

- ①ウレアホルムを主体とした、緩効性の高い肥料
- ②特殊な液状のウレアホルムを、独自の製法で配合することによる緩効度の向上
- ③連用することで土づくり効果が期待できる畜ふん堆肥入り肥料
- ④低コストで側条施肥にも対応する1粒肥料
- ⑤被覆肥料殻が残らない非被覆タイプの緩効性肥料



マイクロプラスチック問題への対策

- ・ 水稻の現場では、省力化のために被覆肥料入り一発肥料が普遍的に使用されている。
- ・ 溶出後の被覆肥料殻（樹脂）が、代かきなどの作業で浮上する可能性があり、圃場外への流出を防ぐための多くの対策が検討されている。



被覆肥料入り一発肥料



流出防止できないと

- ・ 水田の水口にネットを設置
- ・ 水深を低くして代かき実施など。



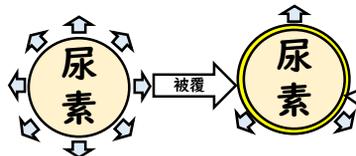
圃場外で確認された被覆肥料殻

生産者や消費者の環境意識の高まりから、被覆肥料を使用していない、省力的でかつ機能性の高い緩効性肥料が求められている。

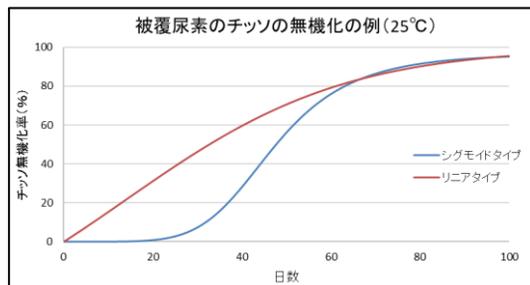
緩効性肥料とは？

①被覆肥料

- ・ 尿素の粒の周りを被覆資材で加工した肥料。
- ・ リニア型やシグモイド型などが開発されている。

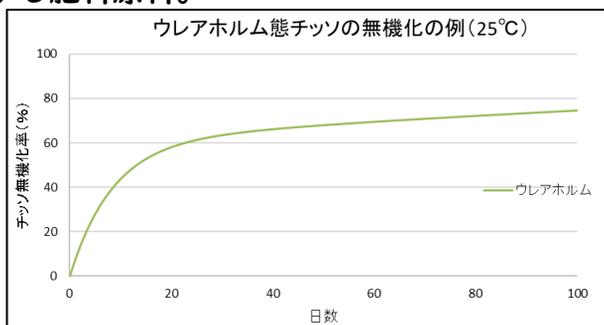


尿素が早期に溶出しないよう、樹脂などで被覆し、肥効を調整している。



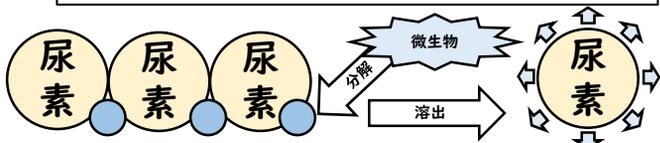
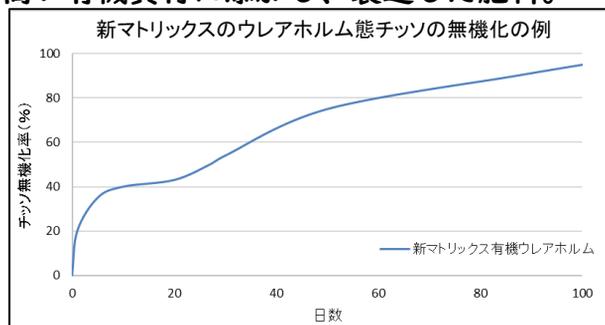
②ウレアホルム

- ・ 尿素とホルムアルデヒドが縮合した分子の集合体で、微生物によって分解され肥効が発現する肥料原料。



③新マトリックス有機

- ・ ウレアホルム製造の中間反応物（スラリー）に尿素を添加した混合溶液を、最大容水量の高い有機資材に添加し、製造した肥料。



朝日アグリア独自の特許技術で造粒することで、ウレアホルムが初期と後期に分かれてチッソが発現。

高機能な1粒品の緩効性肥料

新マトリックス有機356【水稻に最適な肥料です】

※地域によって、お取り扱いの容量が異なる場合がございます。

保証成分(%)

| チッソ | リンサン | カリ |
|-----|------|----|
| 13 | 5 | 6 |



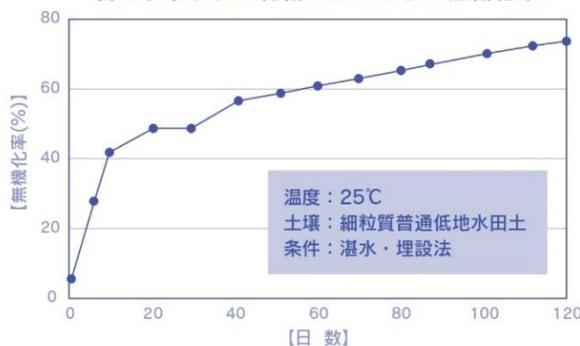
20kg袋



軽量15kg袋

- ◇チッソ13%の内、有機態チッソが約50%です（設計換算値）。
- ◇チッソ13%の内、ウレアホルム態チッソが約6.4%です。
- ◇良質な豚ふん堆肥や有機質肥料を使用しております。
- ◇かさ比重が0.70~0.75で、一般的な化成肥料よりも比重が軽い
ため、事前に「繰り出し試験」を実施し、側条施肥機の調整
をお願いいたします。

新マトリックス有機356のチッソ無機化率



約20日間かけて初期の肥効が発現し、約30日後から後期の肥効が発現します。
※湛水条件下での無機化試験結果です。

新マトリックス有機278【園芸作物に最適な肥料です】

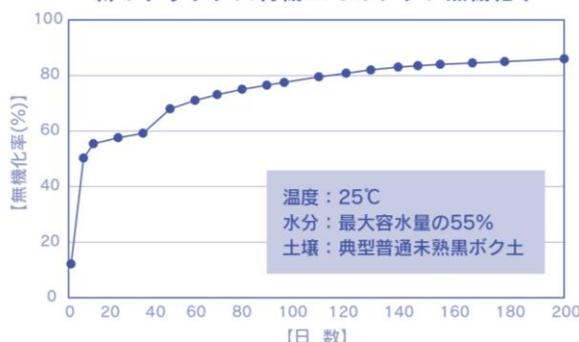
保証成分(%)

| チッソ | リンサン | カリ | ホウ素 |
|-----|------|----|-----|
| 12 | 7 | 8 | 0.2 |



- ◇チッソ12%の内、ウレアホルム態チッソが約8.3%です。
- ◇良質な豚ふん堆肥や有機質肥料を使用しております。
- ◇土壌で欠乏しがちなホウ素を保証しております。

新マトリックス有機278のチッソ無機化率

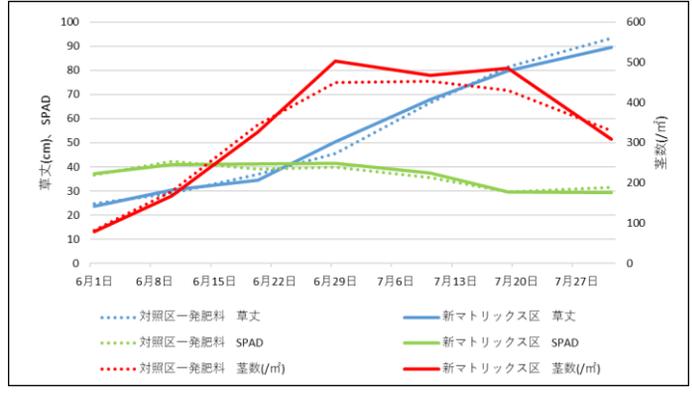


約30日間かけて初期の肥効が発現し、約40日後から後期の肥効が発現します。
※畑地条件下での無機化試験結果です。

新マトリックス 水稻肥料試験事例

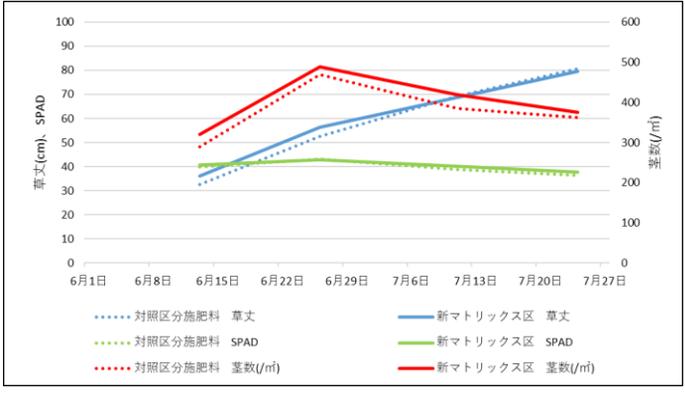
◇新潟県（2023年5月～）

- ・コシヒカリ
- ・対照区一発肥料と新マトリックス有機356（穂肥無し）の生育の比較

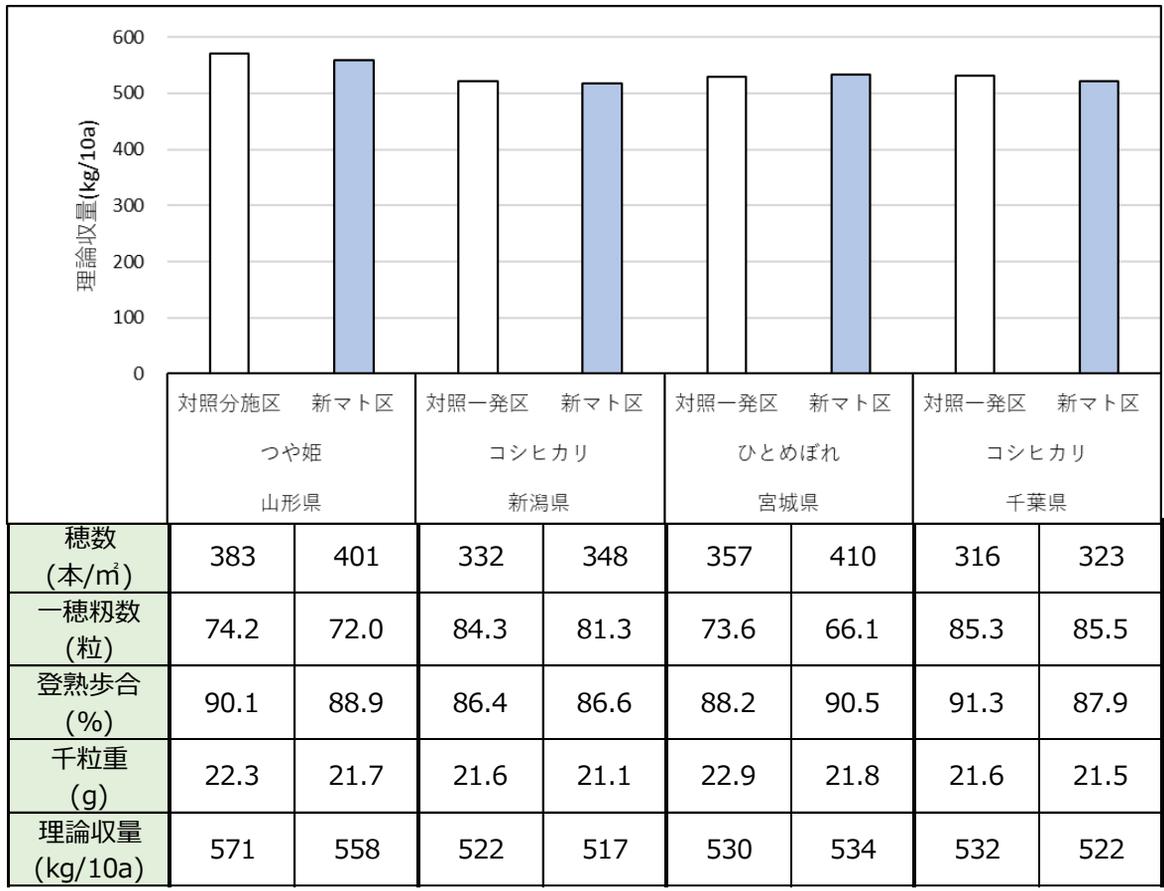


◇山形県（2023年5月～）

- ・つや姫
- ・対照区分施肥肥料と新マトリックス有機356（穂肥無し）の生育の比較



◇収量調査の結果（2023年5月～）



- ・対照区の一発肥料（新潟県）、分施肥肥料（山形県）と比較して、新マトリックス区の草丈、茎数、葉色（SPAD）はいずれも同等程度で推移した。
- ・各県での収量調査の結果より、対照区と比較して新マトリックス区の収量は同等程度であった。

※試験場所によっては出穂期での葉色の低下が確認されたため、生育を確認し適宜追肥を実施して下さい。